

上田市地域づくり人材育成講座 2019 第 1 回

「20年先を見据えた住民自治と郷土史防災」報告



郷土史防災の講座を受けて住民自治と防災の課題について意見交換している様子

【1】 講座概要

<概要>

上田市地域づくり人材育成講座 2019

第 1 回 「20年先を見据えた住民自治と郷土史防災」

主催：上田市／共催：長野大学

日時：11/11（月）14:00~16:00

会場：長野大学 4-104 教室

<タイムテーブル>

- 14:00 上田市から挨拶 伊藤正道（市民参加・協働推進課 担当係長）
- 14:05 20年先を見据えた住民自治 前川道博（長野大学）
- 14:30 住民自治は防災から～郷土史防災のすすめ～
増田和順先生（協働プラットフォーム常務理事）
- 14:55 （休憩）
- 15:00 グループワーク 住民自治と防災の課題
- 15:20 グループごとの報告
- 15:30 意見交換、質疑応答
- 16:00 終了

【2】 講座内容



市民まちづくり推進部長 兼 上田地域センター長 小宮山氏の挨拶

去る11月11日、長野大学主催、企業情報学科のコーディネートによる「地域づくり人材育成講座 上田市／長野大学」が長野大学 4-102 教室で開催された。

10月の台風19号の影響もあり、「防災」というテーマに強く関心を抱く参加者の方々が集まった。行政関係者・教員・研究者・学生など30名余りの参加を得て講座は開催された。市民まちづくり推進部長 兼 上田地域センター長 小宮山氏からは「これまで市の地域内分権の実現推進を進めるとともに、組織を担う人材の確保が課題となった。地域共生社会の実現に向けて、各地域に特化した詳細な地域防災マップの作成などを通して今回の講座で学びとっていただいた内容を地域に持ちかえってほしい」と挨拶をいただいた。



全体の司会進行・開講挨拶を務めた長野大学地域づくり総合センターの山崎氏



長野大学企業情報学部 前川道博教授からの開講挨拶

前川教授からは、社会情勢や社会ニーズの変化による住民自治組織の在り方に触れながら、デジタルアーカイブを活用した地域活動の具体的な実践事例をご紹介いただいた。新しい地域コミュニティの形を探っていくためのアプローチや、地域内で情報を共有していく必要性を再認識することができた。



協働プラットフォーム常務理事 増田和順先生の講座

増田和順氏からは、郷土の歴史を学ぶことで防災に活かせる「郷土史防災」の楽しみ方を提起していただいた。増田氏が郷土史防災の研究を始めたのは、地元茨城県・常総地域の水害被災地を調査したことがきっかけだった。郷土史を研究すると城郭や寺社仏閣などは災害に強い場所に造られていること、大正～昭和には生活環境が変化し、とりわけ昭和には人為による地形の大幅な変更が起り、そうした場所で災害が多く起きていることがわかった。参加者からは「近くの寺院・神社を確認してみたい」「歴史の変遷と防災の結びつきを講義して頂いて大変面白かった」といった声をいただくなど、歴史的根拠を理解することで地域防災の指標につなげていく意義を学ぶことができた。



各グループワークの報告と質疑応答の様子

その後は、1班から6班に分かれてグループワークを実施。普段は中々聞けない各地域の実情を共有し合い、認識のギャップを確認できる意見交換となった。また、学生がグループワークに参加する中で、世代間の視点が交わり「今の若者はそんな風に情報収集しているのか」「地域の実情はこうなっているのか」というようなギャップを発見するシーンが多く見られた。

最後に、各グループワークの報告と質疑応答が行われた。

各グループから、避難時における地域の問題点や、どのような情報収集が避難に役立ったかなどの報告をいただいた。各グループによって具体的な問題点が異なり、各地域の特徴に合った解決策を考えていく必要性を認識する時間となった。

【3】アンケート集計結果（ご意見ご要望欄を一部抜粋）

- ・台風19号の被害や対応への課題がたくさん出たので今後の良い教訓としたい。
- ・この講座については市の職員に受けてもらいたい。
- ・避難場所が結構ネックになっているようでびっくりしました。見直しが必要ではないでしょうか。各避難場所と備品の点検をお願いします。
- ・とても興味・関心のある講座で、今後は楽しみです。

（報告者 巻淵優也 長野大学前川ゼミ4年生）